

防災拠点庁舎整備についての市民説明会

- 日時：令和2年8月22日（土）午後1時30分～午後3時（終了予定時刻は午後3時）
（金井コミュニティーセンター）
- 参加者 114人
内訳 一般 114人（うち議員9人、市職員16人）

質問・意見		回答	
発言者	発言の要旨	回答者	回答の要旨
A氏	・防災拠点施設ありきの話はすべきではない。今ある施設を活用し、財政を上手に運営すべきである。	市回答	・新たに建てた場合、30億円に合併特例債を活用することになる。その際には、借金であるが元利償還金の7割を国が負担するので、残り10億円を今後毎年少しずつ返すことになる。今回その整備をやめ、20年後以降にそれを延ばしたとすると、その時点で、今度は30億円を単独で市が負担しなければならず、恐らく30億円では収まらないということも考えられる。 ・果たして20年後に、佐渡市がその時点で単独費として出せるかどうかを考えると、今の財政状態であれば、この合併特例債を活用しながら進めれば財政状態は大きく悪化はしないと考える。20年後以降に単独費で一度に30億円出すとなると財政指標的には悪化すると考えざるを得ない。
		市回答	・本庁舎、佐和田行政サービスセンター、畑野行政サービスセンター、真野行政サービスセンター、羽茂支所、これらの庁舎は築年数も大きく変わらず残り25年程度で耐用年数が到来する。これらの庁舎のあり方をどうするかは30年後の世界のことであるので今すぐ決めることはできないが、あと20～30年で対応が必要となる。それを考えると、「厳しい財政で」というご意見はもっともだが、今だからこそ使える財源があるということも事実である。建設ありきではない。議会にも説明をして決めていくものである。
B氏	・議会と執行部が離れていることにより1,600万円のコストが発生している。一緒にすることでロスはカットできる。 ・20～30年後の人たちに借金をさせることは許されないの で、執行部の計画はよいと思う。 ・前市政での建設中止がなければ、教育委員会・上下水道課も含めた4～5階建ての庁舎が出来たのではないのか。それを聞きたい。	市回答	・甲斐元市長の段階で現庁舎の隣に4階建ての庁舎を建てる計画であった。通路を挟んで現庁舎と一緒に活用する予定で、基本設計まで完成していた。その後、実施設計の段階で市長選挙となり、三浦市長が基本設計を精査し、建てないことを選択した。その時点では合併特例債は期間延長されておらず、その段階で工事を進めていれば平成30年度までには工事が完了していたという計画であった。
C氏	・庁舎建設は大賛成である。これまでの説明会ではどのような質疑があったのか。	市回答	・賛成と反対のご意見があった。ハザードマップの関係や、合併特例債を活用した場合としなかった場合といった財政的なもの、3階建てでなく4階建ての方がよいというもの、図書館や食堂も複合してほしいなど。
	・資料P.2の【防災拠点庁舎の規模】には、鉄筋コンクリート造り3階建ての庁舎に入る部署についての説明があるが、P.4のQ&AのNo.3の「分散している出先機関を、どのように集めるのですか？」の質問には、観光振興課や上下水道課を集約すると説明している。双方の整合性をお聞かせいただきたい。	市回答	・資料P.2の説明は、新庁舎に入る部署を書いており、P.4は現庁舎に入る部署である。なお、第2庁舎の解体後は駐車場として整備する予定である。
	・建設予定地に埋蔵文化財は出てこないか。出ると工事が遅れることになる。	市回答	・埋蔵文化財はない。

質問・意見		回答	
発言者	発言の要旨	回答者	回答の要旨
D 氏	・ 市民の意見を聞き、早急に建てていただきたい。 ・ 現在の建設予定地は防災拠点としては危険な場所と考える。再検討いただきたい。	市回答	・ 基本的に建設場所については合併協定書によって「千種沖」という制限がある。 ・ ハザードマップの関係では、一部 1 m の浸水となっているが、現庁舎は 0.2～0.4m、建設予定地は 0.3～ 1 m である。敷地・基礎の嵩上げにより床上浸水しない工法を考えている。浸水してしまってもは、庁舎へたどり着けないという指摘もあったが、現庁舎は大丈夫である。新庁舎へは現庁舎から入れるので大丈夫と考えている。
	・ 新庁舎には中央図書館を入れていただきたい。3 階建てに収まらないというのであれば、議会は現在のままでよいので、中央図書館を優先して複合していただきたい。	市回答	・ 図書館の併設については他の地域でもいただいたご意見なので持ち帰って議論したい。
D 氏	・ 新庁舎には調理機能を有する施設を複合していただきたい。日常的に高齢者に対する弁当を作る場であるとか、子供食堂が利用できる等の機能を備えた上で、防災時の炊き出しに備えていただきたい。		(意見として承る。)
E 氏	・ 旧 10 市町村で調理施設がないのは金井だけである。保健師・栄養士らが食の研修を行っているが悲しいことに調理室がない。非常時の炊き出しや親子料理教室など、金井地区の住民が参加できる調理室を要望する。		(意見として承る。)
F 氏	・ 緊急時に備えての情報機器の整備、住民の避難対策も必要である。合併特例債は大震災の教訓を経て活用するものである。庁舎建設を切に願う。		(意見として承る。)
G 氏	・ ハザードマップの危険区域に建設することが引っ掛かる。先ほどの説明では嵩上げと言ったが、どの程度嵩上げするのか。その場合、現庁舎との接続に問題はないのか。	市回答	・ 嵩上げは、浸水深は最深で 1 m、浅くて 0.3～0.4m と敷地によって差があるので、敷地を嵩上げすることと基礎を最低でも 1 m 嵩上げて床上浸水しないようにする。現庁舎も 0.5m 嵩上げしている。それに加えて浸水しないような設備も設けたい。
	・ 現庁舎はいつまで使うのか。	市回答	・ 耐用年数が 50 年ということで計算するとあと 15 年となるが、ここで一旦大規模改修することによって 10～15 年長寿命化し、最低でも 60 年は使用したい。つまりあと 25 年は使えると考えている。
H 氏	・ 皆さんの意見を聞いてどういう形で結論を出すのか。住民投票をすべきと思う。	市回答	・ できるだけ市民の意見を聞き、それをまとめ、もちろんオープンにして、議会と考えていきたいと考えている。
	・ 佐渡の将来を考えると集中型は地域が疲弊する。分散していただきたい。	市回答	・ 仮に分散するとしても、支所・行政サービスセンターには本庁機能を移転するだけのスペースはない。簡単に分散することは難しい。

質問・意見		回答	
発言者	発言の要旨	回答者	回答の要旨
I 氏	・合併特例債の残額は、25～30億円という説明だったが、資料には40億円とある。	市回答	・25～30億円というのは、合併特例債の計画に掲載のない余りの額ということである。 ・現在、40億7千万円が残額である。合併特例債に活用できる事業については、一昨年、5箇年計画として説明会を開催したが、その中で未着手事業として体育館の解体が約10億円近くある。それに加え、今後計画している相川の認定こども園が5億円程度。これらが充当可能な事業として残っている。それを差し引くと25億円程度の活用見込みのない金額があるということである。 ・相川の認定こども園の関係は交付税で国が50％負担してくれる財源があるので、そちらを充てたい。
	・佐和田行政サービスセンターの議場を子育て支援センターにという旨の話があったが、順序が逆である。なぜ、議場が防災庁舎に入るのかという説明が先である。その説明を求める。	市回答	・議会と執行部の迅速な意思疎通が災害時に特に求められるであろうという観点から、議会を本庁に一緒にしたいと考える。 ・合併特例債の残額は約40億円あるが、庁舎の有効活用という点からこのような提案をしている。
	・第2庁舎に所属する機能も一部集約すると、現庁舎に70名入ってくる。そうしたときに、皆さんの構想に差し支えないのか。	市回答	・人数については、こういった形の防災拠点庁舎への割り振りが出るかも含めて、この計画が了とされれば設計に入るので、その中で実際の面積等が確定すると考える。
J 氏	・財政負担を考え、各地域の支所・行政サービスセンターを活用すべきである。改修したばかりの議場を本庁舎へ移転する筋合いはない。		(意見として承る。)
K 氏	・防災管財課はIT化をどれだけ進めているのか。支所から情報が入るのか。	市回答	・IT化については、国・県の情報は一定程度集約化しているが、それぞれ別に入ってくる情報であるので、新しい防災機能の中では、ご指摘のとおり一括で集約できるようにする。 ・支所等からの情報は、電話、防災無線、スカイトランシーバーを使用している。
L 氏	・市民の声を反映するための市民アンケートの実施をお願いする。市が実施しないのであれば、議員が実施すればよい。		(意見として承る。)
	・防災拠点庁舎の規模は3階建てで5,000㎡。現庁舎は3,000㎡であり、合わせて8,000㎡になる。何故かと聞いたら、市の職員の1人あたりのスペースが狭いので、総務省の基準に合わせるためと言った。年収600万円で、エアコンがきいた建物の中で仕事をしている職員である。民間の感覚から見たらおかしい。		(意見として承る。)
L 氏	・窓口機能について、市発足以来人口がかなり減少している。相談する人も減少している。今後、さらに減少する。これからはインターネット、TV電話等で在宅行政サービスの時代である。		(意見として承る。)
	・ランニングコストはいくらか。		(他会場で回答したため省略)
M 氏	・佐和田にある議場が本庁に入るべきということを考えていただきたい。		(意見として承る。)